



## 自動運転バス 実証実験結果

自動運転バスの運転で活躍した  
12名の相鉄バス運転士

## 実証実験の座組とテーマ

### 「路線バス自動運転プロジェクト」

**IoT Open Partners 横浜**  
IoT Open Innovation Partners YOKOHAMA

地域経済活性化  
地域交通の維持  
プロジェクトの調整

**YOXO**  
よ く ぞ  
YOKOHAMA CROSS OVER

群馬大学

自動運転技術の  
研究・提供



持続可能なモビリティサービスの実現

郊外部の交通ネットワークの維持

労働力不足への対応

相鉄バス

自動運転バスの  
提供、運行



# ① 大型路線バス による自動運 転の課題発見

# ② 地域における 自動運転の 機運の醸成

## 実証実験の走行ルート



項目	詳細
区間	動物園正門～里山ガーデン正面
距離	片道・約900m
期間	9/14～10/14の金土日月、32便
時速	20Km/h以下程度
定員	一便につき25名（着座）
レベル	2（弊社運転士が乗務）
検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型バスによる自動運転走行</li> <li>・GPSが途切れる箇所での確認</li> <li>・速度を上げるための課題の発掘</li> <li>・雨天時の降水量・運行ポイント確認</li> <li>・社会受容性の定点観測</li> </ul>
意図	多くの来場者が見込める里山ガーデンに訪れた来場者へのサービス向上と輸送力アップ。自動運転への理解向上

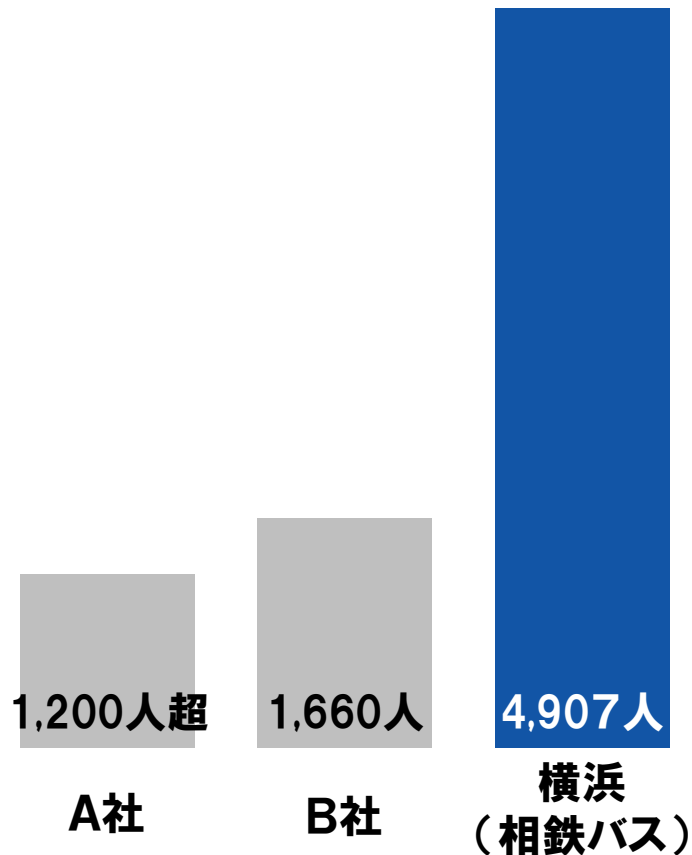
## 実証実験の車両について



項目	詳細
所有	相鉄バス (株)
車両	日野ブルーリボン・ハイブリッド 安全性と操作性、採算性を検証するため、 標準的大型車両継続的な実証実験を志向
定員	77人 (座席数27席)
外装	相鉄バス・スタンダードカラー
設計	群馬大学と当社
架装	相鉄バスにて用意したセンサ類を群 大と架装会社で取り付け、また同社 で自動運転システム、ステアリング、 ブレーキシステム、配線取り回しなど を架装後、車検を対応
工期	4か月間 + システム調整1か月



## 自動運転バスの乗車人数



4,907人

大変多くのお客様  
にご乗車頂いた

自動車新聞社 & 弊社調べ  
(2019年10月18日現在)

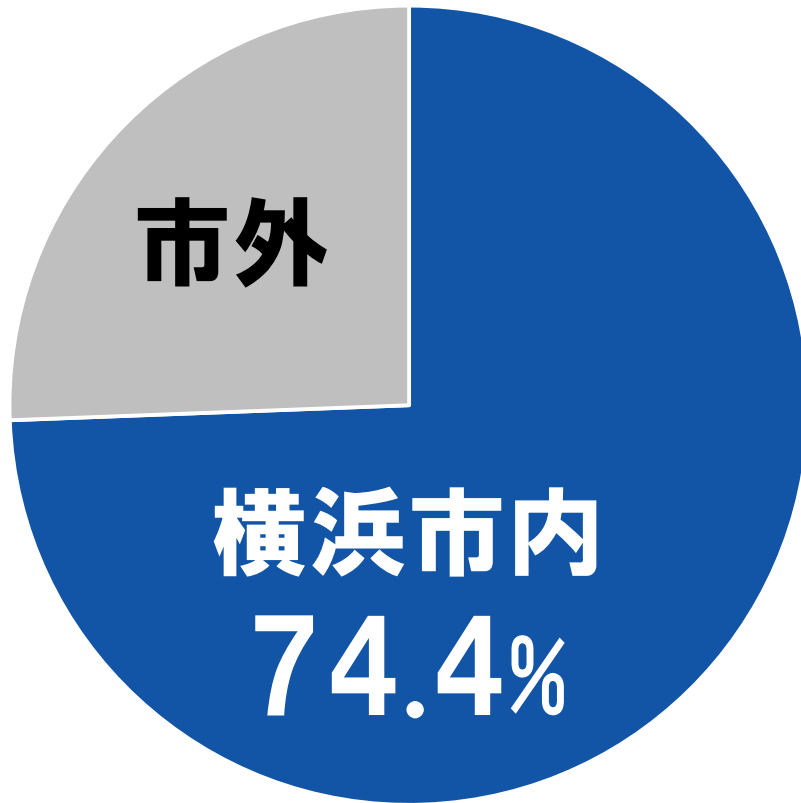
9/14~10/14の17日間の乗車数

## 乗車後アンケートの様子



回答者に即時フィードバックでき、楽しんで参加でき、周りをにぎやかにする

## ご乗客のお住まい

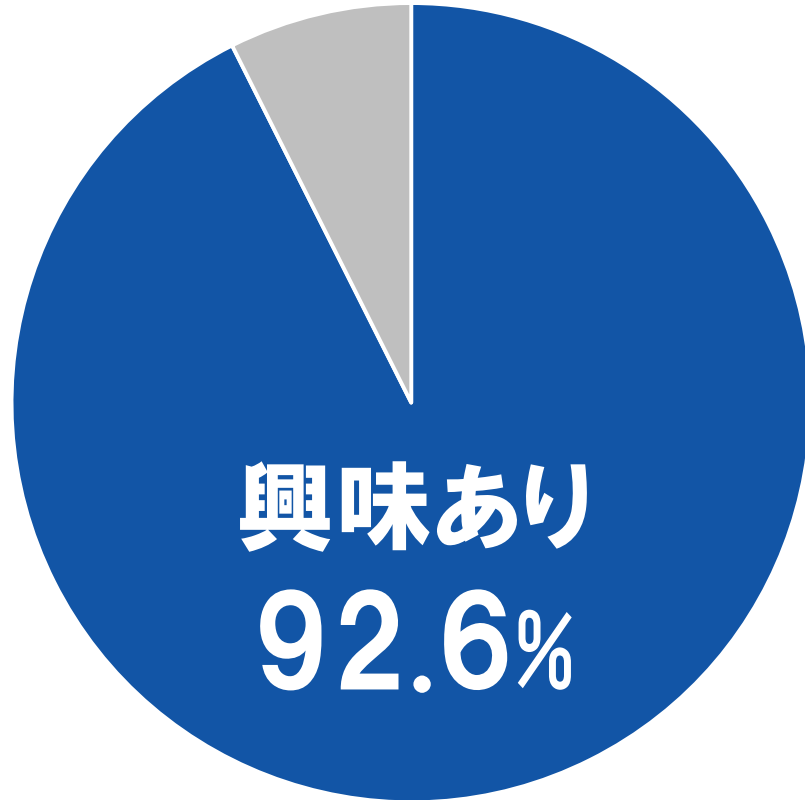


お客様の  $\frac{3}{4}$  は  
横浜市民だった

地元・地域の  
受入れ機運醸成

有効回答数 3,404人／4,907人

## 自動運転バスへの関心度

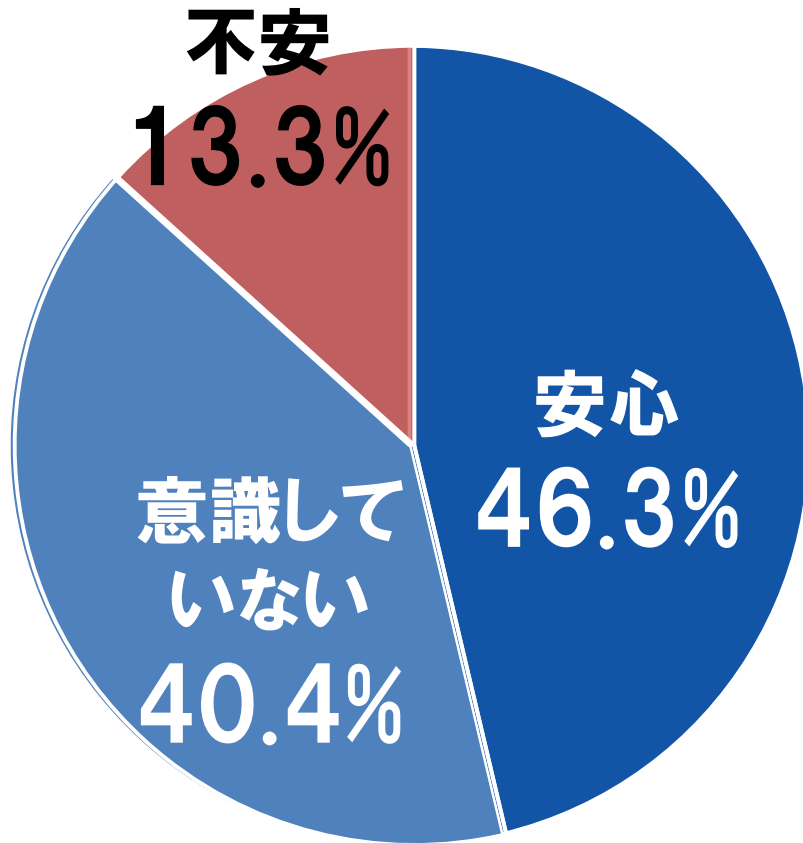


**1/3のお客様に  
「一本遅らせても  
乗りたい！」  
と言って頂けた**

有効回答数 3,406人／4,907人



## ご乗車前のお気持ち

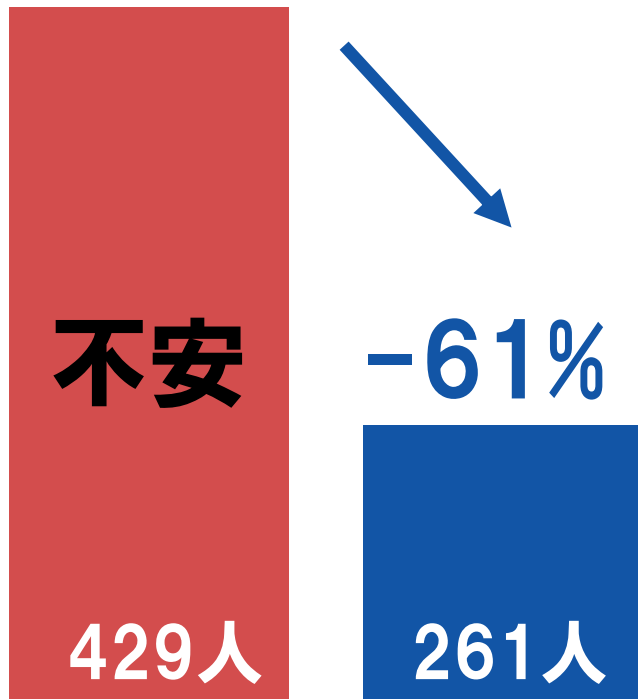


少なからず  
ネガティブな方も  
いらした

乗車後、気持ちは  
変化したか？

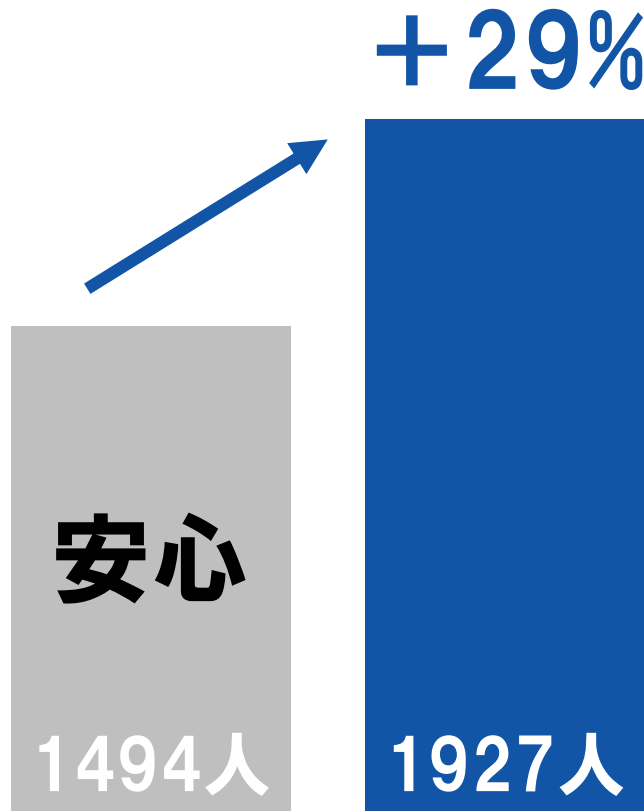
有効回答数 3,227人 / 4,907人

## ご乗車後のお気持ち



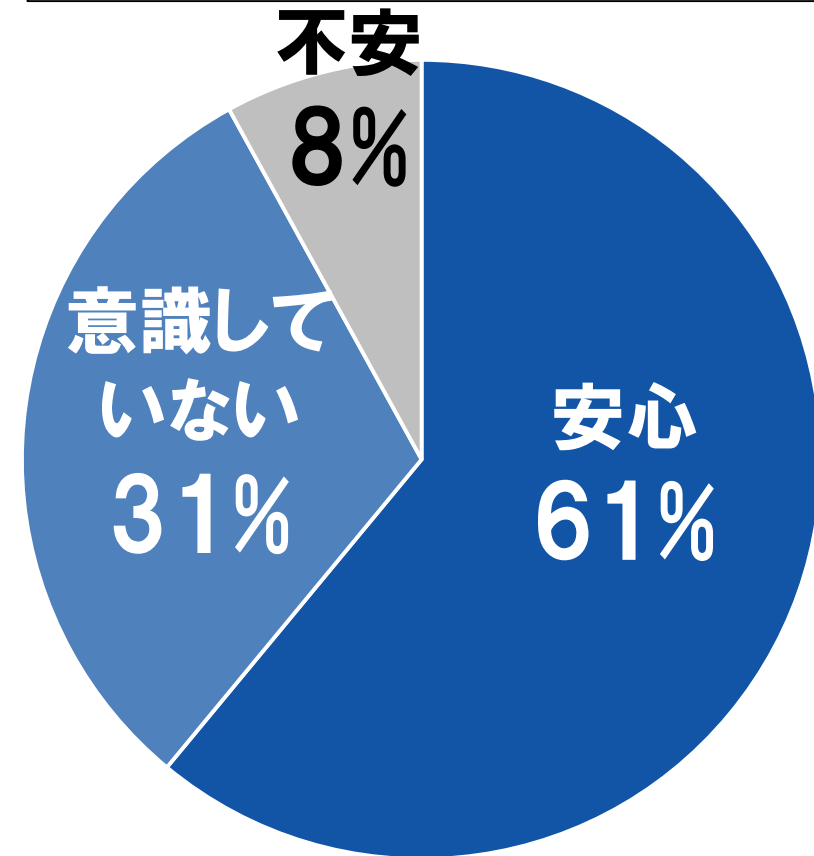
実際の乗車で  
「不安」の約6割  
は払しょくされた

## ご乗車後のお気持ち



実際の乗車で  
「安心」は  
約3割増加した

## 結果を踏まえた今後の展開



# 更なる受入れ 機運の醸成

乗車機会増やす  
乗車経験増やす

有効回答数 3,162人／4,907人